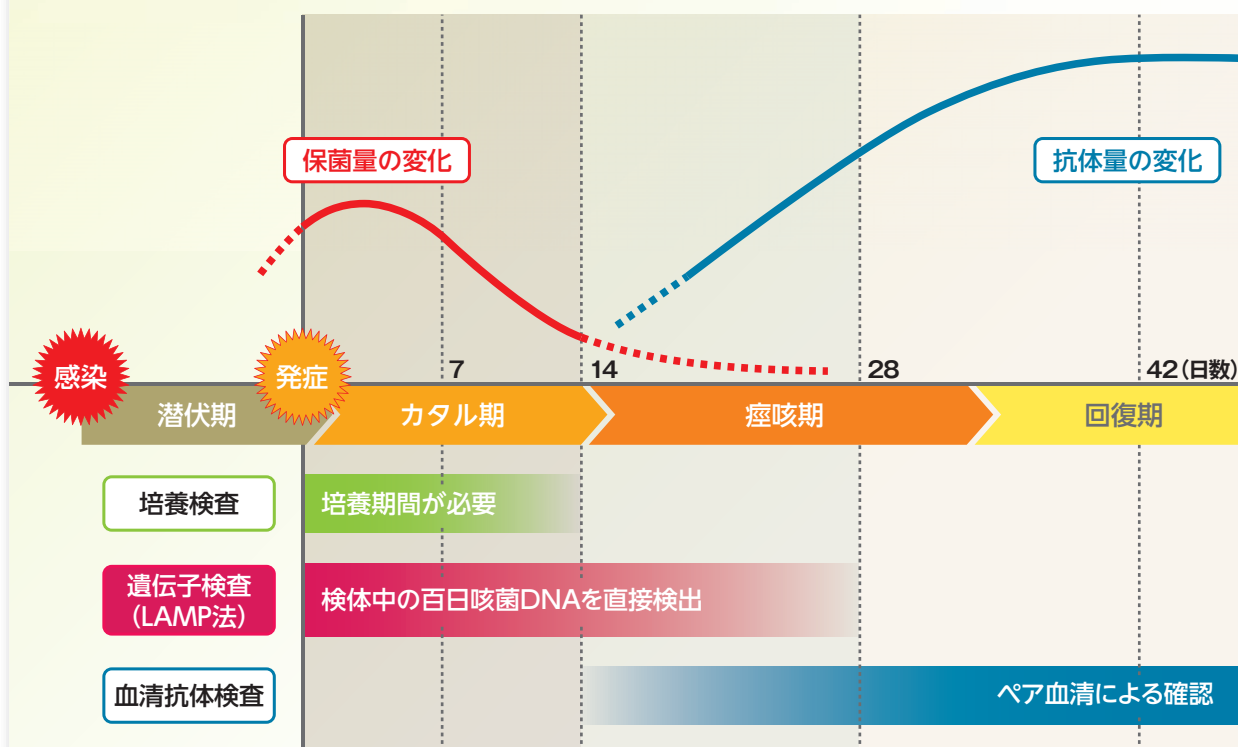


百日咳の早期診断・治療に向けて

百日咳の臨床経過



監修：中山 哲夫 先生（北里大学 北里生命科学研究所 特任教授） 資料提供：栄研化学株式会社

昨年、新しい百日咳検査が相次いで保険適用され、早期診断に繋がる検査として注目を集めています。当検査センターでも受託を開始しましたのでご案内します。

Contents

- 百日咳の早期診断に有用な検査／② ワンポイントアドバイス／②
- 福岡市医師会臨床検査センターの紹介【検査管理係（検査受付）】／③ お知らせ／④
- ちょっとひと言！／④ 中綴じ（～病態へのアプローチ～VOL.97）

福岡市医師会臨床検査センター

〒814-0001 福岡市早良区百道浜一丁目6番9号 TEL 092-852-1506 FAX 092-852-1510
<http://www.city.fukuoka.med.or.jp/kensa/kensa.html> E-mail : fma@city.fukuoka.med.or.jp

百日咳の早期診断に有用な検査

従来、百日咳の確定診断には、培養法又はPT-IgG抗体価検査が臨床現場で多く活用されてきました。しかし、培養法はカタル期では百日咳菌の分離が可能だが痙咳期になると分離が困難になることや、PT-IgG抗体価検査はワクチンの影響を受けるためペア血清での検査が必要となり、早期の診断には向かないなどの課題もありました。今回保険適用された次の検査は、これらの課題をカバーするものであり、今まで困難だった百日咳の早期診断に有用な検査として期待されています。

特徴

■百日咳菌DNA (LAMP法)

検体中の百日咳菌DNAを高感度で検出

培養法では分離が困難な痙咳期でも特異的に検出

■百日咳抗体IgA、百日咳抗体IgM

IgA抗体は病日約21日、IgM抗体は病日約15日をピークに発現

(IgA抗体はIgM抗体よりも持続して検出)

ワクチンの影響を受けないため、単血清での診断が可能

項目コード	検査項目	検体量	所要日数	実施料 判断料	検査方法
2894	百日咳菌 DNA	後鼻腔 ぬぐい液	3～5	360 ※1	LAMP法
特殊伝票	百日咳抗体 IgA	血清 0.2 (mL)	3～5	80 ※2	ELISA
	百日咳抗体 IgM				

※1 微生物学的検査判断料 150点

※2 免疫学的検査判断料 144点

ワンポイントアドバイス

ピーナッツ
アレルギー



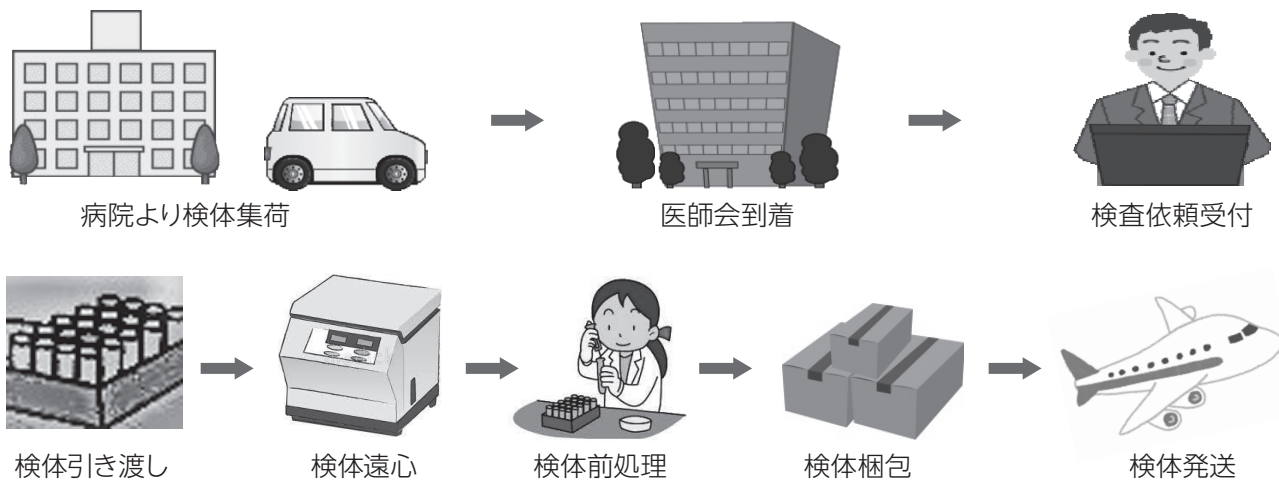
食物アレルギーの原因で代表的なものといえば、卵、牛乳、小麦ではないでしょうか。そのほかにも原因食物は色々ありますが、小児では上記3つの次にピーナッツ、果物が多くなっています。中でも、ピーナッツは比較的重篤な症状を引き起す食物です。また、ピーナッツアレルギーは耐性を獲得しにくく、大人になっても存続し続けることがしばしばあります。

ピーナッツは名前にナッツとつきますが、地中に実をつけるマメ科植物であり、分類上はアーモンドなどの木の実とは種類の異なる植物です。しかし、名前が似ているだけの赤の他人かという、食物アレルギーにおいてはそうではありません。実は、ピーナッツアレルギー患者の内、25～50%の方はナッツ類に対するアレルギー反応も示すといわれ、関連の深い食物同士なのです。そのため、ピーナッツアレルギーがある場合は、ナッツ類にも注意が必要になります。

当センターでは10月2日より、ピーナッツのコンポーネントであるAra h 2、ナッツ類のアーモンドやカシューナッツ、クルミなど15項目のアレルギー検査のセンター内アッセイを開始いたしました。より迅速に検査結果をご報告することができるようになりましたので、ぜひご活用ください。 自動分析係 田丸 幸

検査管理係(検査受付)紹介

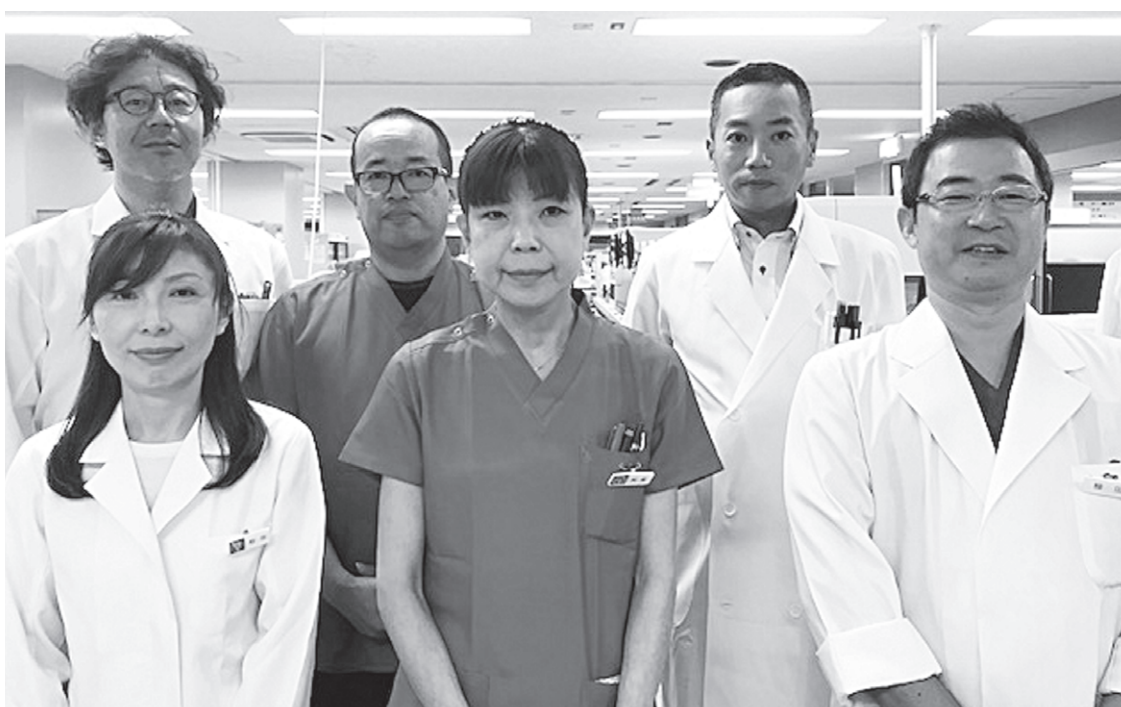
2016年4月の組織変更により新しくできた部署です。主に検体取り扱いの窓口業務及び外部委託検査の窓口業務について職員5名パート1名の計6名で業務を行っています。



私たちの部署は上記の検査依頼受付後からの作業が業務となります

- 検体到着処理補助
依頼内容の整合性チェック、修正
- 提出検体の前処理業務
各種検体の遠心分離作業、特殊材料処理
- 前処理後の検体管理
凍結、冷蔵、室温の温度別による検体管理
- 外部委託先への検体引き渡し
温度別による検体梱包、委託先別への発送作業

私たちは、検体検査の窓口として正確、迅速に日々対応出来るよう取り組んでいます。
また、特殊検査の採血容器や提出方法等ご不明な点があれば検査管理係までご連絡ください。



精度管理報告



検査精度を保証するためには、外部精度管理調査（コントロールサーベイ）に参加し外部評価を受けることにより、自施設の検査の正確性及び標準的な結果であることを定期的に確認する必要があります。

福岡市医師会臨床検査センターでは、以下の通り2種類の全国規模の外部精度管理調査と福岡県主催の外部精度管理調査に参加しています。また、日本臨床衛生検査技師会精度保証施設認証制度より、精度保証認定施設として登録されています。

昨年度実施されました外部精度管理調査の結果について報告いたします。

平成28年度(第50回) 日本医師会 臨床検査精度管理調査	平成28年度 日本臨床衛生検査技師会 臨床検査精度管理調査	第45回 福岡県医師会 臨床検査精度管理調査
99.2点/100点	評価A+B件数/評価対象数 201/201(満点)	評価：A 98.8%(正答率)
参加施設数：3,223	参加施設数：3,934	参加施設数：208

◎外部精度管理参加状況

日本医師会 臨床検査精度管理調査
 日本臨床衛生検査技師会 臨床検査精度管理調査
 福岡県医師会 臨床検査精度管理調査
 (九州臨床検査精度管理研究会 精度管理調査)
 各種メーカーサーベイ

◎認定の取得

日本臨床衛生検査技師会 精度保証施設認証
 (2012年4月1日取得)



闇

先日「ゾンビマラソン」というものに参加した。1周2キロのコースをリレー形式でタスキを繋ぐ、俗に言うリレーマラソン。他と違うのはコース上にゾンビが潜んでいること。劇団員扮するゾンビなので動き、メイク衣装も伊達じゃない。夜、平尾台の山奥での大会ということもありVRを越えている。ルールとして、ゾンビに捕まるとペナルティでチームの記録が1周減らされるため、各チーム応援にも熱が入る。さて、そんな中我がチームは最下位。順位を上げるためには、他のチームがゾンビに捕まる他ないと悟った私、いつしかゾンビに声援を送っていた。この夜、チームメイトは私の闇を見してしまったかも…。そんなことってないですか。
 (検査業務課 高下)